

乳幼児を持つ親子の メディア活用と意識についての 実態調査

～調査の目的～

ここ数年で電子メディア点数が急速に増え、生活に浸透するなか、乳幼児の生活でメディアは実際にどのように活用されているでしょうか。親はどう意識してメディアを生活に取り入れ、どのようなことを感じているでしょうか。

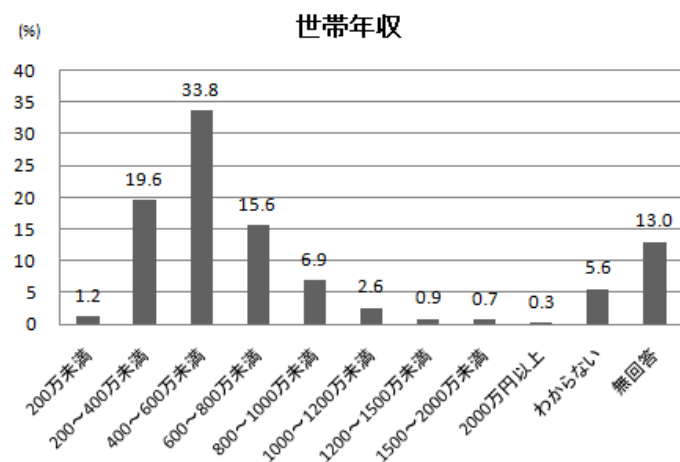
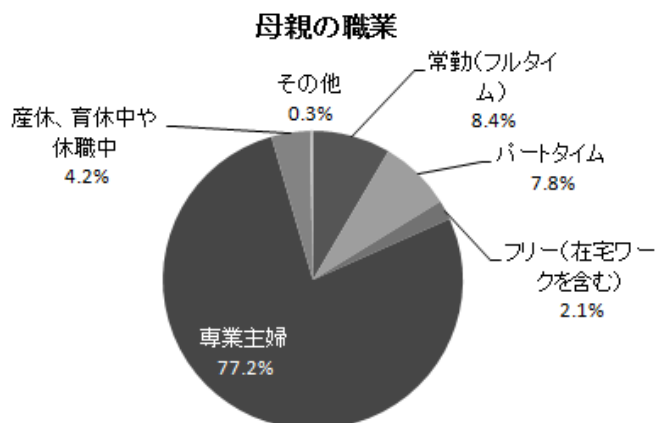
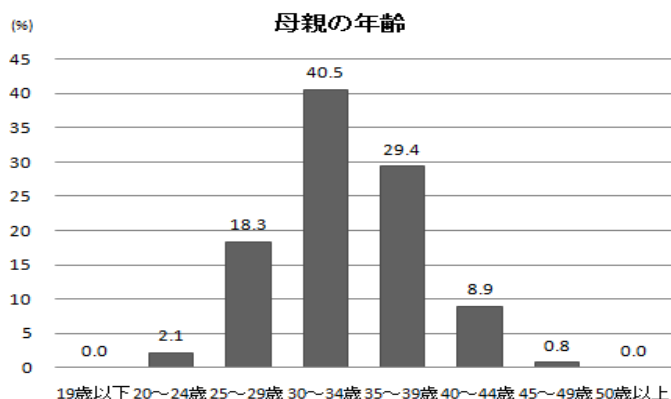
乳幼児を持つ親子のメディア活用実態、保護者のかかわりの実態、保護者の意識を明らかにしたいと考え、調査を行いました。

● 調査概要 ●

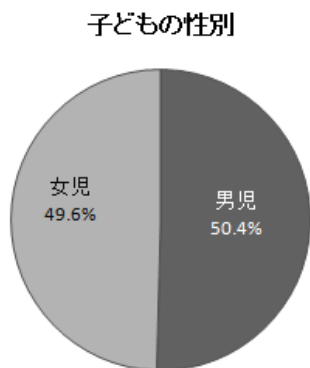
名称	「乳幼児を持つ親子のメディア活用と意識についての実態調査」							
調査対象	0～5歳児(第1子)をもつ母親							
調査地域	東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県							
有効回答数	3,090サンプル							
	子どもの年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
	サンプル数	515	515	515	515	515	515	3090
調査時期	2011年6月25日、26日							
調査方法	インターネット調査							
調査項目	1週間のメディアの使用頻度、1日のメディアの使用時間、モバイル機器の使用状況、メディアを見せる目的、親のかかわり方、決めているルール、家族のメディア意識 など。							

基本属性

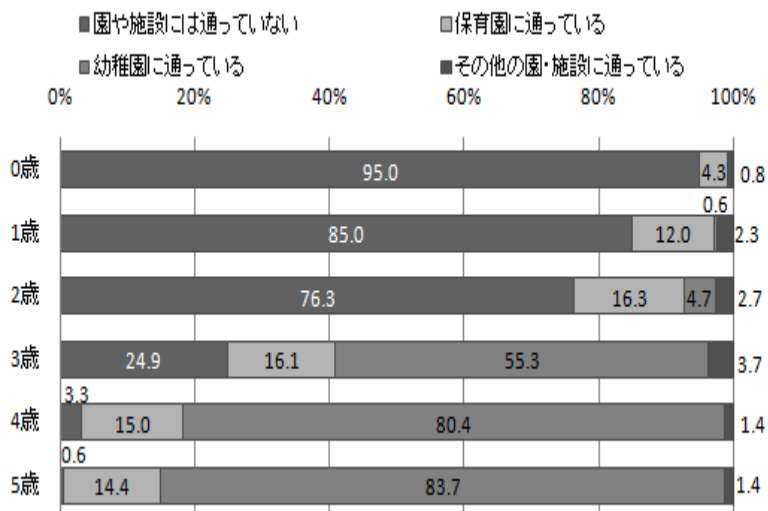
母親



子ども



就園状況



乳幼児を持つ親子は、家ではテレビやビデオ・DVD・ブルーレイを中心に、外出時にはモバイルという形で、生活にメディアを取り入れていた。

子どもが0～1歳と小さいうちは、保護者がメディアを見る環境を整えてあげ、子どもが2歳～5歳になるにしたがって、親子でルールや約束などを決めていく様子がかうかがえた。

● 乳幼児を持つ親子のメディア活用実態 → 4P～

● 保護者のかかわりの実態 → 6P～

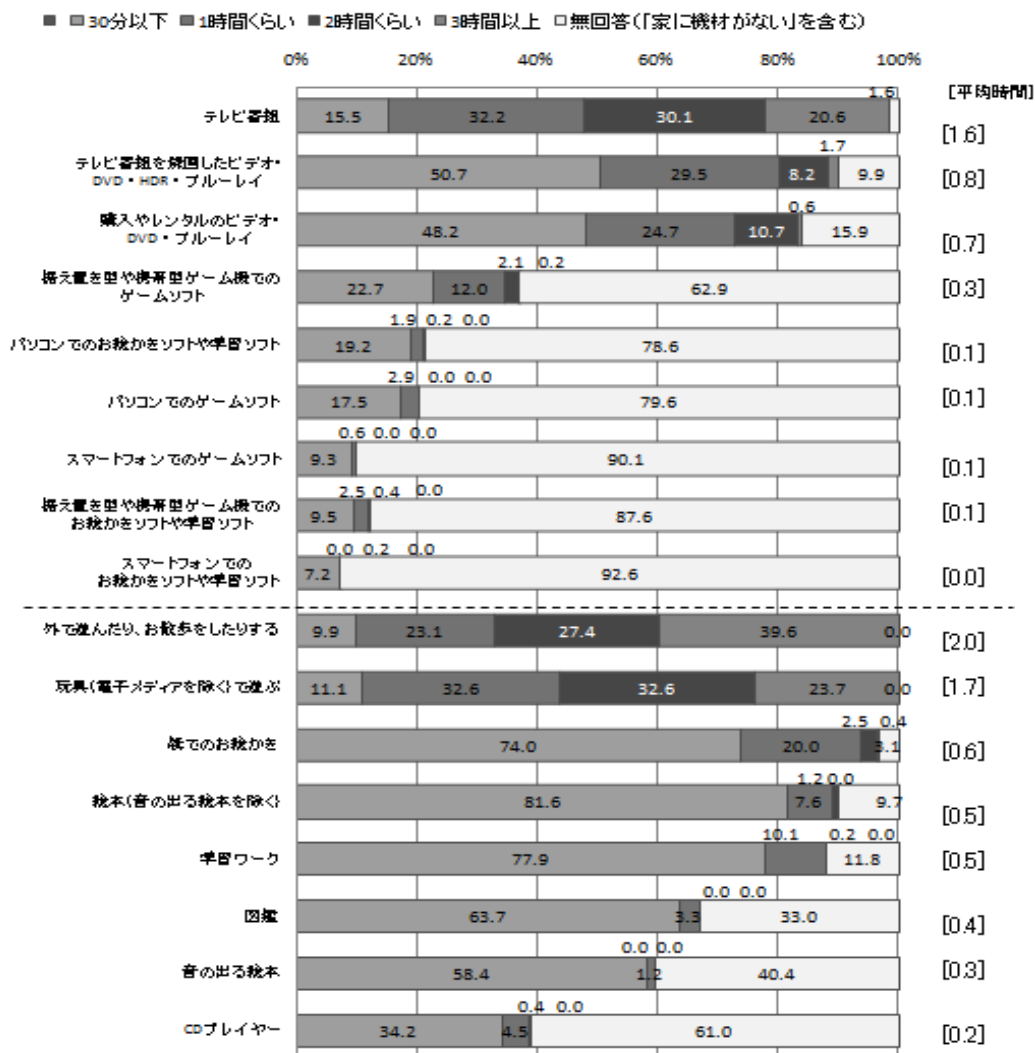
● 保護者のメディアへの意識 → 9P～

(1)メディア利用の実態—1日に遊ぶ時間

● 5歳児が1日に遊ぶ時間は、メディアでは「テレビ」「ビデオ・DVD・ブルーレイ」、メディア以外では「外遊び」「玩具」「紙でのお絵かき」「絵本」「学習ワーク」が多かった。メディアとメディア以外のバランスをとりながら生活している様子がうかがえた。

(図1)

1日に遊ぶ時間(5歳児) N=515



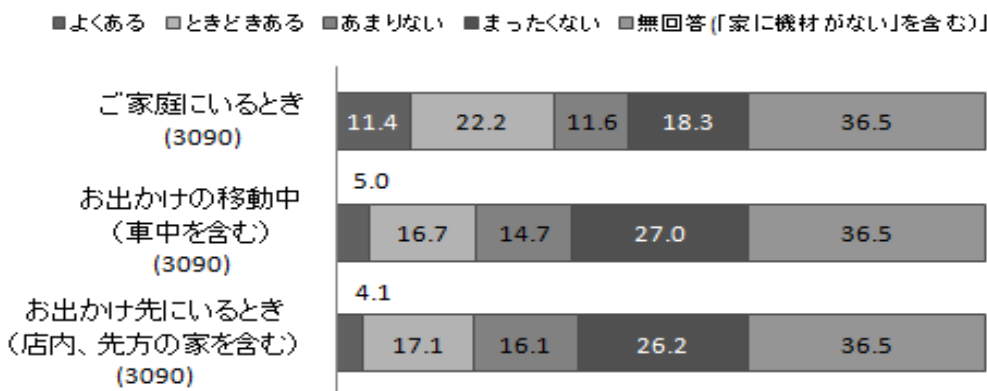
※平均時間は「30分以下」を0.5時間、「1時間くらい」を1時間、「2時間くらい」を2時間、「3時間以上」を3時間として算出した。

乳幼児は、1日にどれくらいメディアを見たり使ったりしているだろうか。図1は、メディアとメディア以外(外遊びや電子メディア以外のおもちゃ)をみたものである。乳幼児が1日に行っている遊びは、メディアでは「テレビ」「ビデオ・DVD・ブルーレイ」、メディア以外では「玩具」「外遊び」「絵本」「紙でのお絵かき」が多かった。一方、パソコンやメディアタブレット、携帯電話やスマートフォンを使って、お絵かきソフトや学習ソフト、ゲームなどをする割合は1割以下だった。

●保護者は、携帯電話やスマートフォンを、家庭のみにとどまらず、お出かけのときにも約2割が子どもに見せたり触らせたりしていた（「よくある+ときどきある」の割合）。活用内容は、写真や動画を見せる割合が高かった。

(図2)

子どもに、携帯電話やスマートフォンを見せたり触らせたりするか



(表3) ○○ちゃんにどのようなことをさせていますか。(年齢別)

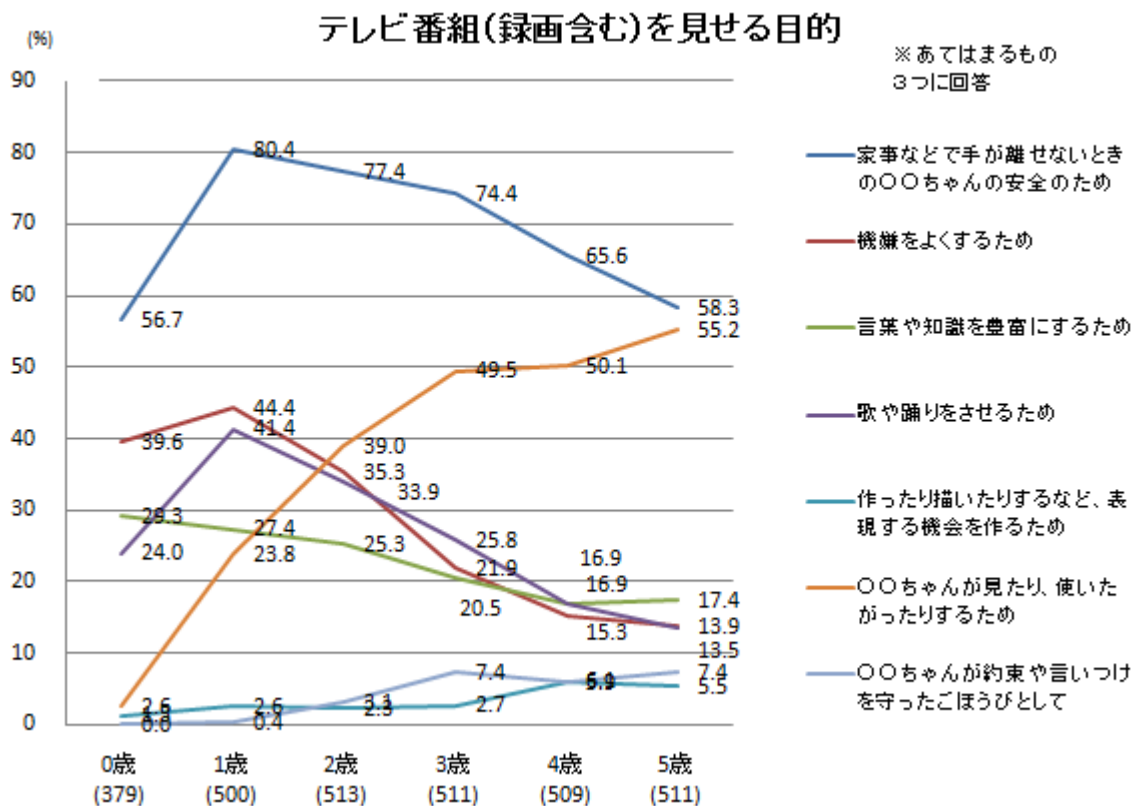
	電話をさせる	音や音楽を聞かせる	写真を見せる	写真を撮らせる	あなたや○○ちゃんが撮った動画を見せる	検索やダウンロードした動画を見せる	○○ちゃんに動画を撮らせる	ゲームをさせる
0歳(203)	16.3	47.3	61.6	9.4	41.4	21.2	2.0	4.9
1歳(261)	35.2	51.0	80.1	31.4	59.4	33.7	5.7	10.3
2歳(263)	64.6	45.2	89.4	55.5	72.6	41.1	9.5	19.8
3歳(265)	72.1	42.6	93.2	64.2	74.7	34.7	12.1	25.3
4歳(240)	71.7	41.3	92.9	67.1	70.4	33.3	16.7	28.8
5歳(242)	69.0	37.6	93.0	66.5	65.7	26.4	16.9	37.6

※いずれかの場面で、見せたり触らせたりしているかについて、「よくある」「ときどきある」「あまりない」と答えた人について、以下の内容について、「よくある」「ときどきある」の合計

保護者は、乳幼児に携帯電話やスマートフォンなどのモバイル機器を、どれくらい見せたり触らせたりしているのだろうか。図2は、場面別にモバイルの活用状況をたずねた結果である。「お出かけの移動中」や「お出かけ先にいるとき」に、子どもにモバイル機器を見せたり触らせたりしていると回答した保護者は2割だった（「よくある」と「ときどきある」の合計）。表3は、モバイル機器を使って、子どもにどのようなことをさせているかについてたずねた結果である。0歳から5歳を通して高い割合で行われていたのは、「写真を見せる」「あなたや○○ちゃんが撮った動画を見せる」だった。年齢が上がるにつれて、「電話をさせる」「写真を撮らせる」の割合が高くなり、「ゲームをさせる」割合も少しずつ高くなる傾向がみられた。

● 保護者が子どもにテレビ番組を見せる目的は、2歳以降で「〇〇ちゃんが見たり使いたがったりする」が高くなる傾向がみられた。

(図3)



保護者は、メディアを使いながら、乳幼児とどのようにかかわっているのだろうか。ここでは多くのご家庭で見ているテレビ番組を取り上げ、見せる目的について16項目から3つ選んで回答してもらった。

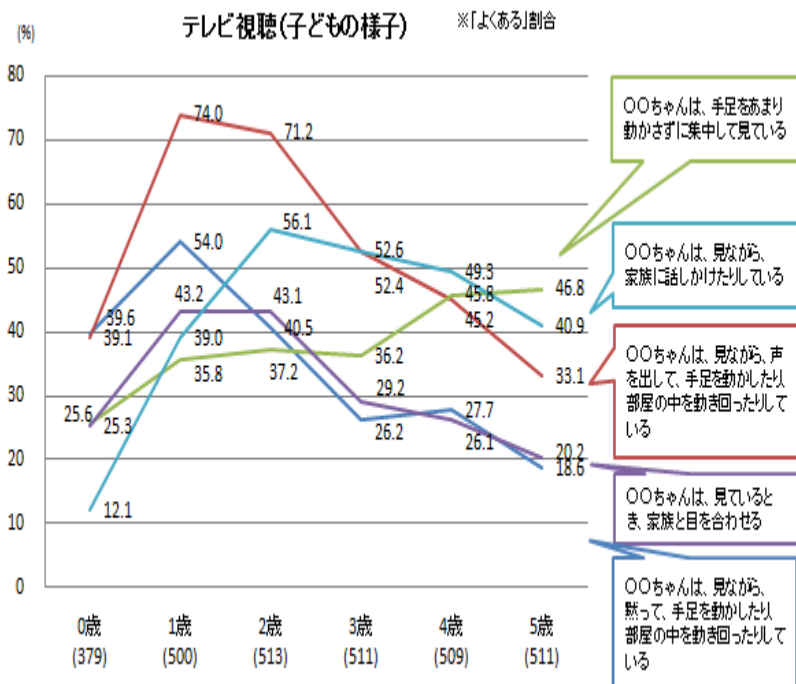
図3は、年齢別にみた結果である。子どもが1～2歳の場合、「家事など手が離せない時の〇〇ちゃんの安全のため」、「機嫌をよくするため」「歌や踊りをさせるため」の割合が高かった。子どもが2歳以降になると「〇〇ちゃんが見たり使いたがったりする」が、年齢とともに高くなる傾向がみられた。ビデオ・DVD・ブルーレイの視聴目的でも同様の傾向がみられた。

子どもが1～2歳の時期は、保護者の都合に合わせて子どもにテレビを見せており、子どもが2歳以降になると、子ども自身がテレビを見たがるようになる様子がうかがえた。

(2) 保護者のかかわり—テレビ視聴の様子

● 子どものテレビ視聴の様子は、0～1歳では動き回り、2～3歳では家族に話しかけ、4歳以降で集中して見ている。

(図6)



親子は実際にはどのようにテレビを見ているのだろうか。視聴スタイルについて、親子それぞれの様子をたずねた。

図6は、子どもの様子を年齢別にみた結果である。0～1歳の場合、「〇〇ちゃんは、見ながら、声を出して、手足を動かしたり、部屋の中を動き回ったりしている」「〇〇ちゃんは、見ながら、黙って手足を動かしたり、部屋の中を動き回ったりしている」割合が高く、見ながら手足を動かして動き回っている様子がうかがえる。2～3歳の場合、「〇〇ちゃんは、見ながら、家族に話しかけたりしている」割合が高くなり、4歳以降では「〇〇ちゃんは、手足をあまり動かさずに集中して見ている」割合が高くなっていった。

子どもが成長するにつれて、テレビを見るときの様子が変わっていく様子がうかがえる。

(図7)

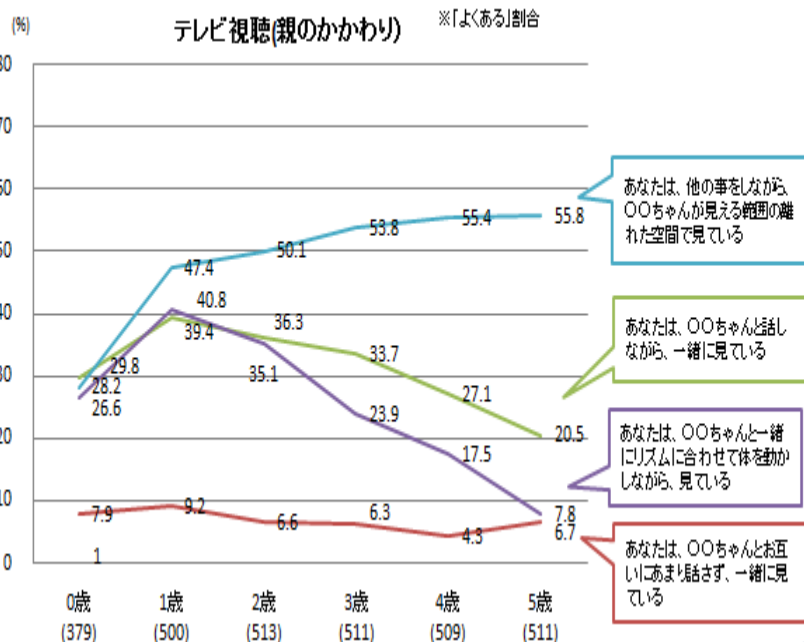
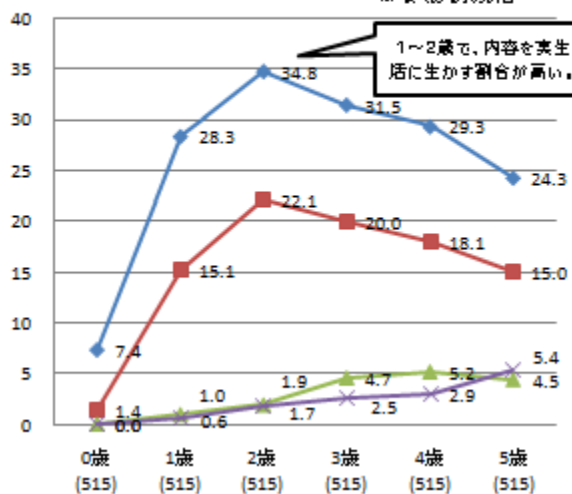


図7は、親のかかわりの様子について、年齢別にみた結果である。子どもが0～1歳のときは「〇〇ちゃんと一緒にリズムに合わせて体を動かしながら見ている」「〇〇ちゃんと話しながら一緒に見ている」など、親子で一緒に活動しながら見ている様子がうかがえた。2歳以降は「他の事をしながら、〇〇ちゃんが見える範囲の離れた空間で見ている」と回答する割合が少しずつ増えていった。

●親子で、テレビやDVDで見たことを生活に生かしているのは1～2歳で多く、親子で話しているのは2～5歳で増えていた。

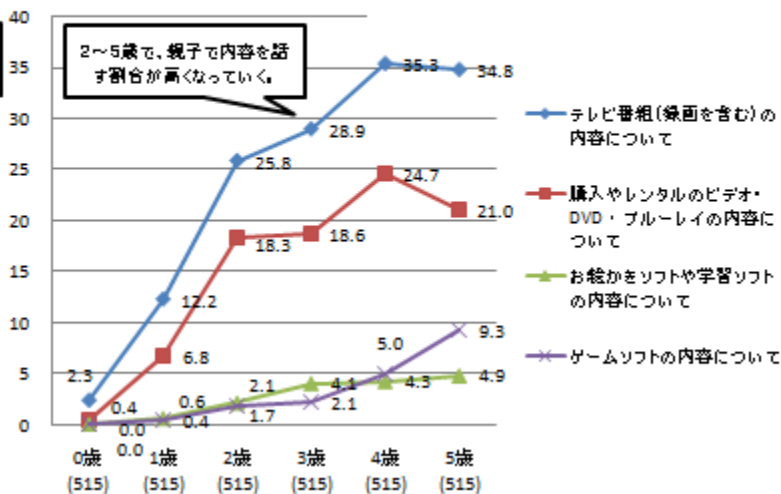
(図8)

見た後、親子で内容を実生活に生かしたことがあるか ※「よくある」の割合



(図9)

見た後、親子で内容について話すことがあるか ※「よくある」の割合



テレビ番組やビデオ・DVD・ブルーレイなどを見たり使ったりしていないとき、その内容を実生活に生かしたり、話したりしたことがあるかをたずねた。

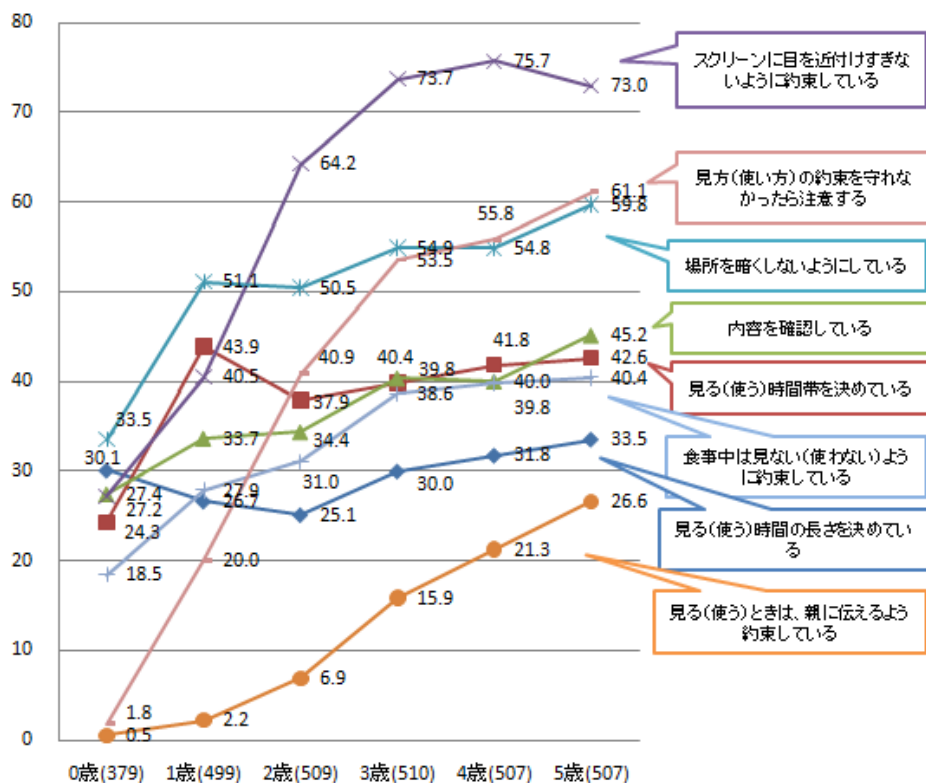
図8は、テレビやビデオ・DVD・ブルーレイで見た「内容を、親子で実生活に生かしたことがあるか」について、「よくある」と回答した結果である。年齢別にみると、子どもが1～2歳で多くなっていた。

図9は、「見た後、親子で内容について話すことがあるか」について、「よくある」と回答した結果である。年齢別にみると、子どもが2～5歳で多くなっていた。

子どもが1～2歳の場合、保護者が子どもをうまくリードしながら、踊りや歌など、テレビやビデオ・DVD・ブルーレイで見た内容を親子で一緒に実生活に生かしているようである。子どもが2～5歳になると、子どもは好みが出てくることに加え、見たり使ったりした内容を少しずつ記憶できるようになり、親子で話しているのではないだろうか。

●親子のテレビを見るとききのルールは、0～1歳で「スクリーンに目を近付けない」「場所を暗くしないようにしている」が多く、1～2歳で「見方の約束を守れなかったら注意する」、2～3歳で「内容を確認している」「食事中は見ないように約束している」「見るときは親に伝えるように約束している」が増えていた。親は子どもの成長に合わせて、ルールを決めている様子が見えてくる。

(図10) テレビを見るとききのルール(年齢別)



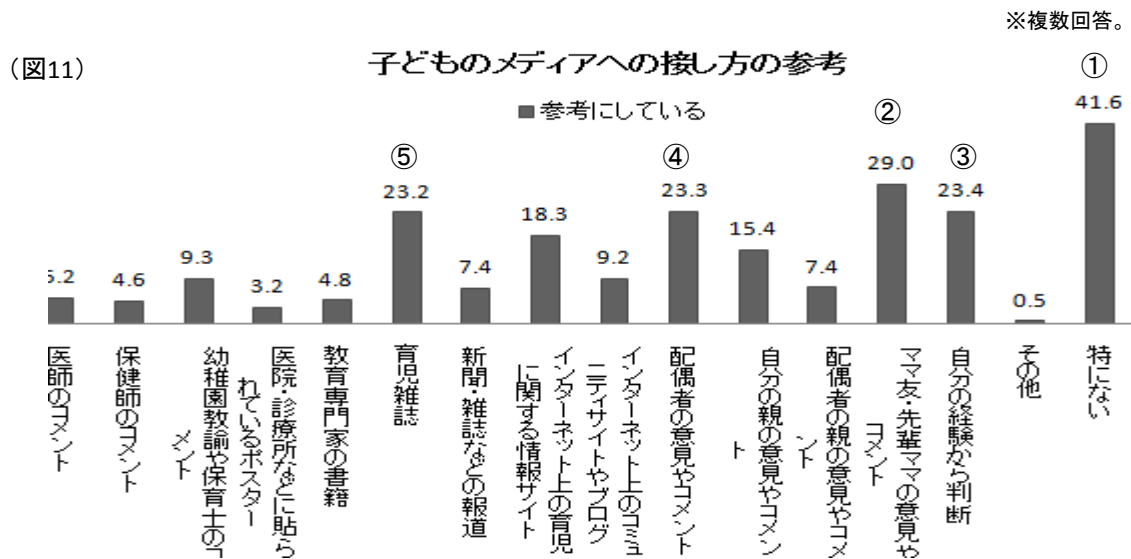
保護者は、乳幼児がメディアを見たり使ったりするとき、どのようなルールを決めているのだろうか。ここでは、乳幼児を持つ親子が見ている割合の多いテレビ番組についてとりあげる。

図10は、家庭での子どものテレビへの接し方について8項目のうち、あてはまるものをすべて回答してもらった結果である。子どもが0歳や1歳の時期から「スクリーンに目を近付過ぎないように約束している」「場所を暗くしないようにしている」が多い傾向がみられた。子どもが1～2歳の場合、「見方の約束を守れなかったら注意する」が急速に増え、2～3歳になると、「内容を確認する」「食事中は見ないように約束している」「見るときは親に伝えるように約束する」が増えていた。

子どもテレビを見始める0～1歳の時期に、保護者は子どもが見るとききの環境を整えており、子どもが見たいものが出てくる2歳くらいから、親子で見るとききのルールを少しずつ決めて守るようにしている様子が見えてくる。

(3) 保護者のメディア意識—メディアの接し方の参考

- メディアの接し方で参考にするのは、多い順に「特にない」「ママ友・先輩ママの意見やコメント」「自分の経験から判断」「配偶者の意見やコメント」「育児雑誌」。



(表12) 子どものメディアの接し方の参考(年齢別)

※複数回答。

	医師のコメント	保健師のコメント	幼稚園教諭や保育士のコメント	医院・診療所などに貼られているポスター	教育専門家の書籍	育児雑誌	新聞・雑誌などの報道	インターネット上の育児に関する情報サイト	インターネット上のコミュニティサイトやブログ	配偶者の意見やコメント	自分の親の意見やコメント	配偶者の親の意見やコメント	ママ友・先輩ママの意見やコメント	自分の経験から判断	その他(具体的に教えてください)	特にない
0歳(515)	8.5	11.5	8.5	5.8	7.8	39.2	8.5	32.6	15.9	23.9	22.7	11.7	32.2	13.6	0.2	34.8
1歳(515)	6.2	6.2	7.6	2.9	5.4	29.1	6.2	19.8	10.9	18.8	14.6	5.8	30.7	20.8	0.4	42.1
2歳(515)	2.7	2.5	7.0	2.9	2.3	19.6	4.9	16.1	8.5	21.0	12.8	6.6	26.2	22.9	0.4	44.5
3歳(515)	5.4	3.9	10.1	2.1	5.6	20.2	7.4	15.9	7.4	24.1	14.8	7.6	27.6	27.8	0.6	43.5
4歳(515)	4.3	1.6	11.7	2.1	2.7	15.1	8.0	13.4	5.2	26.2	15.3	8.0	28.3	26.4	0.4	41.7
5歳(515)	4.1	1.7	11.1	3.3	4.9	15.7	9.3	11.8	7.4	25.8	12.0	5.0	28.9	28.7	0.8	43.1

保護者は、子どものメディアへの接し方を考えたり決めたりする時、何を参考にしているのだろうか。16項目について参考になっているかどうかをたずねた。

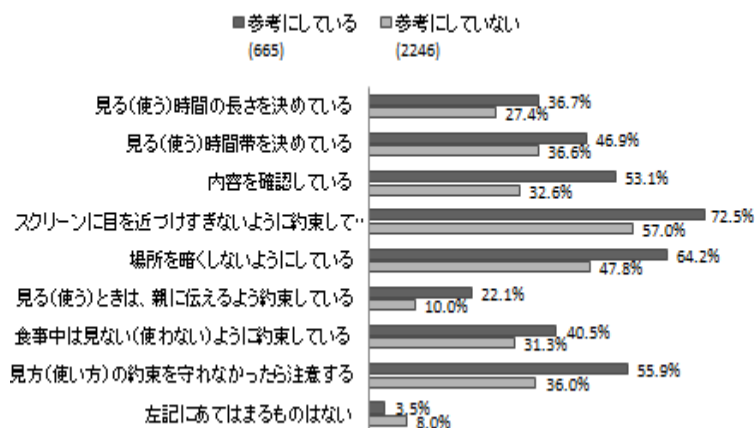
図11をみると、多い順に「特にない」「ママ友・先輩ママの意見やコメント」「自分の経験から判断」「配偶者の意見やコメント」「育児雑誌」だった。保護者がメディアへの接し方について参考にする場合、小さな子どものいる身近な人の意見を参考にしている様子が見える。

図12は、子どもの年齢別にみた結果である。子どもが0～1歳の時期、「育児雑誌」「インターネット上の育児に関する情報サイト」「ママ友・先輩ママの意見やコメント」を参考にしていると回答した人は3割以上で、その他の項目も他の年齢に比べて高かった。子どもがテレビなどのメディアに接し始める時期は、保護者は情報を多方面から集めている様子が見える。一方、子どもの年齢が上がるにつれて「自分の経験から判断」が多くなっており、集めた情報と自分の経験と照らし合わせて最終的に判断する傾向が見える。

● 配偶者やママ友・先輩ママの意見を参考にしている母親は、自分自身も子どもにもテレビ視聴のマナーに、より気を配っている傾向がある。

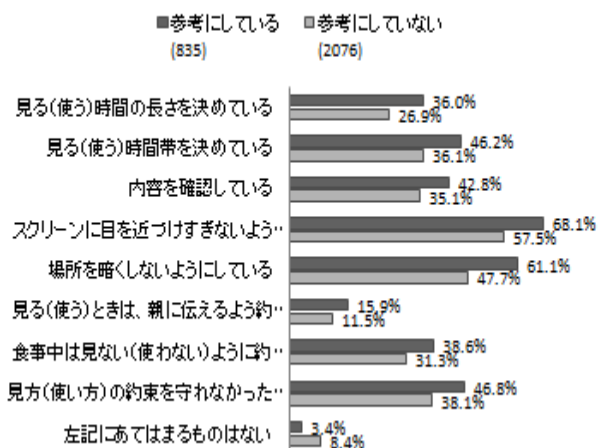
(図13)

テレビのルール
(配偶者の意見やコメントの有無別)



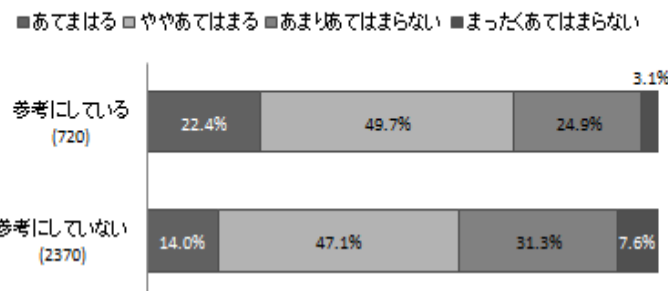
(図14)

テレビのルール
(ママ友・先輩ママの意見やコメントの有無別)



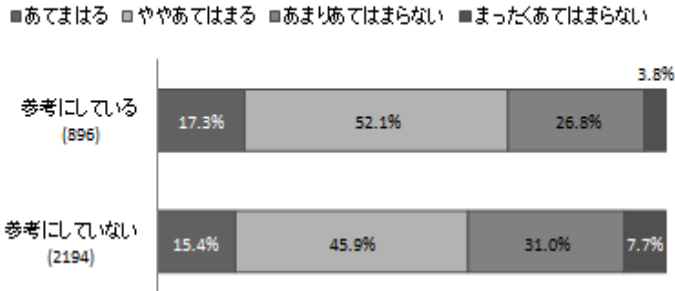
(図15)

私は、自分が見る番組やマナーを気をつけるようにしている
(配偶者の意見やコメントの有無別)



(図16)

私は、自分が見る番組やマナーを気をつけるようにしている
(ママ友・先輩ママの意見やコメントの有無別)

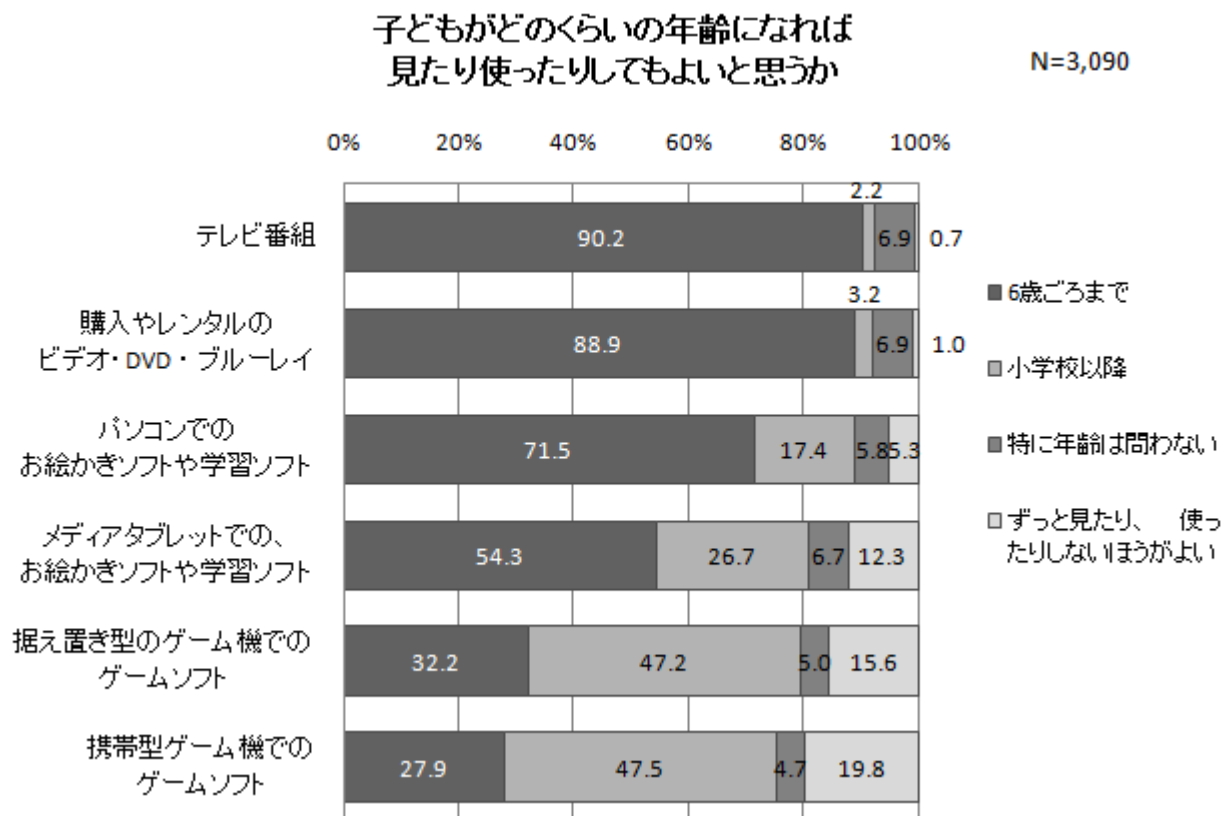


保護者が子どものメディアへの接し方について参考にしている割合の高かった配偶者やママ友・先輩ママの意見やコメントについてみていきたい。

図13,14をみると、配偶者やママ友・先輩ママの意見やコメントの参考にしている場合、「子どもがテレビを見る時のルールを決めている」割合がいずれの項目でも高かった。また、図15,16をみると、配偶者やママ友・先輩ママの意見やコメントの参考にしている場合、「自分が見る番組やマナーを気をつけるようにしている」割合が多かった。配偶者やママ友・先輩ママの意見やコメントを参考にしている場合、保護者は自分自身にも子どもに対しても、メディアとの接し方に気を配っている傾向がうかがえた。

● 子どもが6歳までに見たり使ったりしてもよいと保護者が思うものは「テレビ番組」「ビデオ・DVD・ブルーレイ」が約9割。「パソコンでのお絵かきソフトや学習ソフト」が約7割、「メディアタブレットでのお絵かきソフトや学習ソフト」が約5割。

(図17)



子どもがどのくらいの年齢になればメディアを見たり使ったりしてもよいと思うかをたずねた。図17をみると、「テレビ番組」「ビデオ・DVD・ブルーレイ」について、「6歳ごろまで」に見たり使ったりしてもよいと思うと回答した人は約9割だった。お絵かきソフトや学習ソフトについては、「6歳ごろまで」と回答した人は、「パソコン」での場合が7割、「メディアタブレット」での場合が5割以上だった。一方、「携帯電話」「スマートフォン」での場合は「ずっと見たり、使ったりしないほうがよい」と答える割合が2割を超えた。ゲームソフトについては、「小学校以降」と答える割合が47%だった。乳幼児を持つ親子にとって、テレビやビデオ・DVD・ブルーレイは身近なものになっているようである。一方、テレビやビデオなどに比べて新しいメディアは、家庭により、子どもに見せたり使わせたりしてもよいという判断がそれぞれであるように思われる。

● 調査全体をふりかえって ●

ここ数年で電子メディア点数は急速に増え、生活に浸透しています。乳幼児をもつ家庭では、メディア点数が劇的に増えているわけではないものの、親が子どもの成長の様子を見ながら、テレビやビデオ・DVD・ブルーレイを中心にメディアを生活に取り入れ、実生活に生かしたり、親子で話していたりしていました。また、一部の親子は外出時にモバイル機器を使っていることもわかりました。

保護者のかかわりやメディア意識では、子どもが0～1歳では、保護者がメディアを見る環境を整えてあげる傾向にあります。2歳ごろになると子どもにも好みが出てきて、また約束も少しずつできるようになるため、親子で少しずつルールを決め、守れなかったら注意するなど、子どもの成長に合わせて、親子でメディアの接し方のルールを決めて、生活に生かしている様子がうかがえました。とくに、小さな子どもがいる身近な人の意見を参考にしている場合、保護者は自分も子どもに対しても、メディアの見方や使い方、マナーに気を配っている傾向にあるようです。

親子がメディアを生活に新しく取り入れたり、子どもの成長に合わせて生かし方を変えたりするとき、メディアを上手に生かすために、どんなことに気を配って、どのように使っているのか、どんなルールや約束を決めているのかなど、気軽に参考や相談できるような環境があることも大切に思われます。